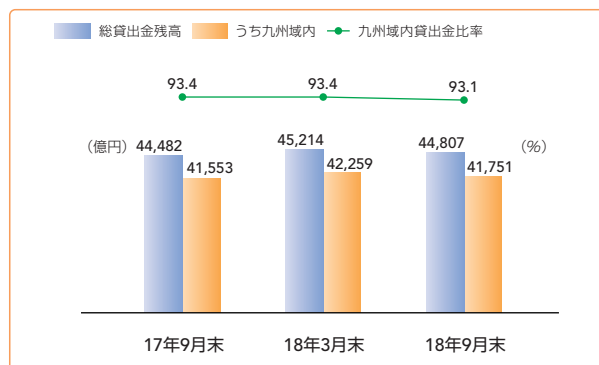


当行は、地域に根ざした金融機関として、地域に貢献し、積極的にCSR（企業の社会的責任）活動に取り組むことにより、広く信頼される銀行であることをめざしております。

具体的には、地元九州のお客さまへの貸出・預金・各種機能サービス等の提供によりお役に立つという、地域金融機関の本業を通じた地域貢献をはじめとして、コンサルタント機能の発揮による地域経済活性化への取り組み、財団等を通じた社会・文化貢献活動等を継続的に実施しております。

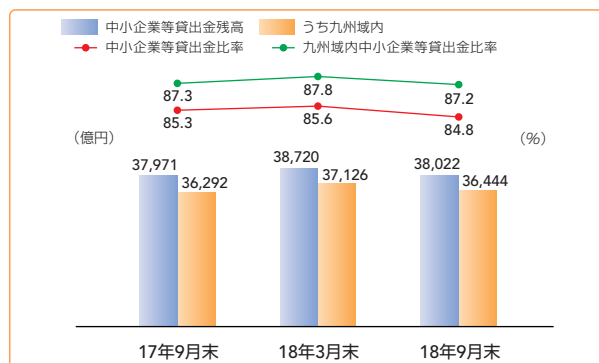
貸出金の状況（平成18年9月末現在）

■ 貸出金



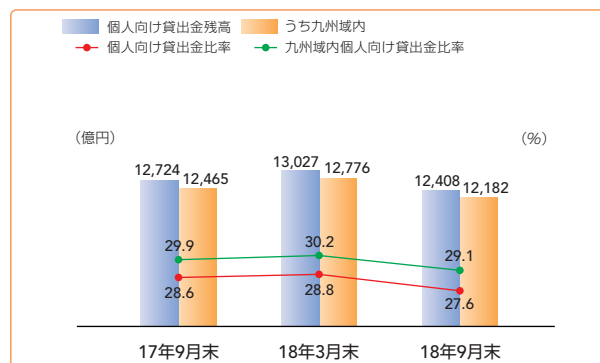
貸出金につきましては不良債権のオフバランス化を進めたことなどにより、平成18年3月末比407億円減少し、平成18年9月末現在4兆4,807億円となりました。そのうち九州域内における貸出金は4兆1,751億円で、総貸出金の93.1%と、高いシェアを占めております。

■ 中小企業等貸出金



平成18年9月末現在、中小企業等貸出金は3兆8,022億円、総貸出金に対して84.8%と高いシェアを占めております。このうち、九州域内が3兆6,444億円で九州域内中小企業等貸出金比率は、87.2%と高いシェアを占めております。また、平成18年9月末現在の中小企業等貸出の先数は43万件で、このうち九州域内の中小企業等貸出の先数は42万2千件と多くのお客さまにご利用いただいております。

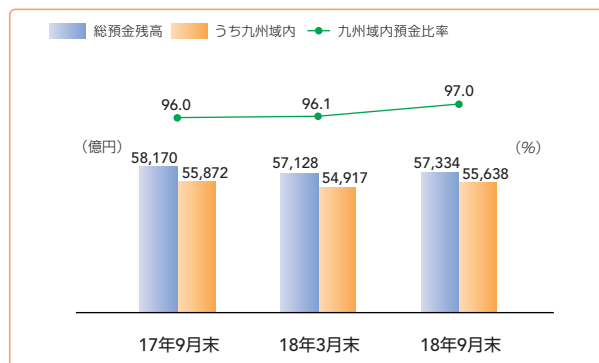
■ 個人向け貸出金



平成18年9月末現在の個人向け貸出金は1兆2,408億円で総貸出金に占める比率は27.6%です。このうち、九州域内は1兆2,182億円で、九州域内の個人向け貸出金比率は29.1%です。また、個人向け貸出件数は36万1千件、このうち、九州域内の個人向け貸出件数は35万6千件と多くのお客さまにご利用いただいております。

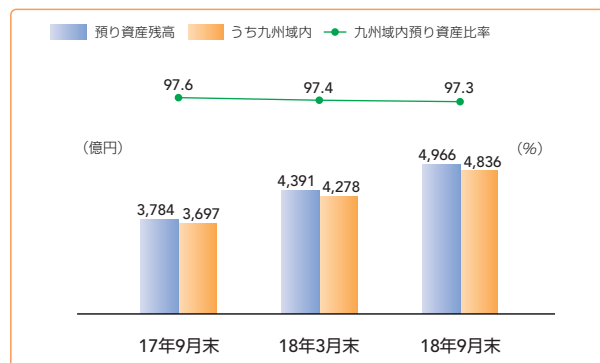
預金・預り資産の状況（平成18年9月末現在）

■ 預金（譲渡性預金を含む）



平成18年9月末の譲渡性預金を含む預金につきましては、平成18年3月末比205億円増加して5兆7,334億円となりました。このうち九州域内の預金は5兆5,638億円で全体の97.0%と、高いシェアを占めております。

■ 預り資産（投資信託・個人年金保険）



平成18年9月末の預り資産残高は、平成18年3月末比575億円増加の4,966億円となり、順調に推移しております。このうち九州域内は4,836億円で全体の97.3%と高いシェアを占めております。

※預り資産残高＝投資信託残高＋個人年金保険販売累計額

社会・文化貢献活動

経営者賞

昭和47年に設立した「財九州・山口地域経済貢献者顕彰財団」では、地域経済の発展に特に優れた功績を上げている中堅・中小企業の経営者の方々を毎年表彰し、「経営者賞」を授与しております。



第33回経営者賞

財団設立以来の受賞者は127名で、受賞企業のうち26社が上場または店頭公開を果たしております。

アジア貢献賞

昭和60年に設立した「財西日本国際財団」では、アジア諸国との国際文化交流事業を推進し、国際相互理解の促進と国際的人材の育成に努めており



第7回アジア貢献賞

ます。平成11年には「アジア貢献賞」を創設し、毎年、九州・山口地域においてアジアとの国際交流に貢献している団体・個人を表彰しております。また、財団設立20周年を記念して平成17年より「アジアkids大賞」を創設し、アジアとの国際交流に貢献している学校等の表彰を始めております。

プロムナードコンサート

昭和60年に設立した「財福岡文化財団」が毎月開催しております「プロムナードコンサート」は、地域の皆さまに親しまれ、公演数は250回を超えました。平成18年10月には250回記念コンサート「アマデウスの思い出」を開催しました。



250回記念コンサート

地域行事への参加

当行は、地域社会の一員として、地域のイベントへ積極的に参加しております。「博多どんたく港まつり」、「わっしょい百万夏祭り」、「水の祭典久留米まつり」等の各地のイベントへの参加を通じ



水の祭典

て、地域の皆さまとのふれあいの輪を広げております。

ユニセフ活動

昭和45年に設立した「日本ユニセフ協会九州本部」では、各種イベントの開催、街頭募金等を通じて世界の恵まれない子供たちを援助するユニセフ活動を支援しております。



ユニセフ

ミュージカルへの支援

文化芸術活動支援の一環として、「美女と野獣」や「アイダ」等、数々の劇団四季ミュージカル作品を協賛サポートしております。



©Disney 「アイダ」

「博多・北九州に強くなろう」シリーズ

昭和54年にスタートし通巻91号になったこのシリーズでは、地元の身近な話題やゆかりの人物を取り上げ、わかりやすく紹介しております。



トピックス

公的資金の半額返済

平成18年9月6日、当行第1回優先株式に関し、総額約411億円（発行価額ベースで総額350億円）の自己株式の取得及び消却を行いました。今後も早期完済を目指してまいります。

システム開発・運用業務のアウトソーシング

平成18年10月27日、株式会社NTTデータとの間で、システム開発・運用業務に係る「アウトソーシング基本契約書」を締結、12月15日より、共同出資の株式会社NTTデータNCBへのアウトソーシングを開始いたしました。

医療機関債の発行受託、 新規開業医サポートローンの取扱開始

医療機関の資金調達方法の多様化や経営の透明性・財務の優良性のアピールに役立つ「医療機関債」の発行受託を行っており、平成18年12月末までに合計4件の受託実績をあげております。

また、平成18年6月9日、株式会社メディヴァとの提携により、審査精度の向上とスピード化を実現した個人開業医向け「新規開業医サポートローン」の取扱を開始いたしました。

証券仲介業務取扱の拡大

平成18年10月16日、お客さまの資産運用ニーズの高まりにお応えするため、証券仲介業務の取扱店舗を7月に続いて拡大し、これまでの5拠点から13拠点増加の18拠点でのお取扱といたしました。同時に、証券仲介商品ラインナップの充実を図るため、野村證券株式会社・三菱UFJメリルリンチPB証券株式会社に加え、新たにみずほ証券株式会社との業務提携を開始いたしました。

株式会社豊和銀行との資本・業務提携

平成18年8月28日、金融システム安定化への貢献を目的として株式会社豊和銀行へ30億円の出資を行い、次いで、9月25日には営業面を中心とした業務提携を実施しました。

「CSR私募債」の取扱開始

平成18年9月27日、CSR（企業の社会的責任）活動に積極的に取り組んでいる企業を金融面でサポートするため、九州地区で初めて「CSR私募債」の取扱を開始いたしました。「コンプライアンス」「環境配慮」「地域貢献活動」「雇用機会均等」等のCSR活動に関して、国・自治体・第三者からの認証・認定・表彰を受けた企業を対象に、通常の銀行保証付私募債より発行コストを優遇いたします。平成18年12月末現在で、すでに4件受託いたしました。

「売上債権保証サービス」紹介業務の取扱開始

平成18年11月6日、お取引先企業の、売上債権回収時の未回収リスク軽減を図るため、企業間取引の与信支援サービスを幅広く展開するイー・ギャランティ株式会社との提携により「売上債権保証サービス」の取扱を開始いたしました。

レディスフリーローン 「子育てママ応援特別金利」の取扱開始

平成18年11月1日、地域ぐるみでの子育て支援を目的とした「子育て応援の店」事業（財団法人福岡県地域福祉財団が募集）の趣旨に賛同し、「NCBハートフルプラン レディスフリーローン」について、「子育てママ応援特別金利」の取扱を開始しました。

